



第17回

日本アディクション看護学会学術集会

17th Annual Meeting of the Japanese Society for Studies in Addiction Nursing

生きづらさの語りと共存

—アディクションを視野に入れて—

会期 2018年9月1日(土)・2日(日)

会場

長崎県立大学シーボルト校

長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1号

大会長

河口 朝子

長崎県立大学 看護栄養学部教授

一般演題募集期間

2018年

3月1日(木)～5月31日(木)

交流集会企画募集期間

2018年

3月1日(木)～5月17日(木)

事前参加登録期間

2018年

3月1日(木)～7月6日(金)

ホームページ

<http://jadict17.html.xdomain.jp/>



プログラム

9月1日(土)

- ◇ 大会長講演：生きづらさの語り
河口 朝子氏 (長崎県立大学看護栄養学部看護学科教授)
- ◇ 基調講演：あした、笑顔になあれ — 夜回り先生、いのちの授業
水谷 修氏 (水谷青少年問題研究所所長)
- ◇ 特別講演Ⅰ：なぜふつうに食べられないのか？
文化人類学からとらえる「摂食障害」
磯野 真穂氏 (国際医療福祉大学大学院講師)
- ◇ 当事者の語り：ダルクの当事者活動とは？— 依存症回復支援 —
中川 賀雅氏 (特定非営利活動法人ちゅーりっぷ会長崎ダルク代表理事)
- ◇ シンポジウム：アディクションと語りの意味
尾上 英次郎氏 (一般社団法人日本精神科看護協会 長崎県支部長)
稗田 幸則氏 (長崎県精神保健福祉士協会 会長)
山中 嘉子氏 (長崎こども・女性・障害者支援センター 主任技師)
日下部 恵氏 (NPO 法人ちゅーりっぷの会長崎ダルク 作業療法士)
- ◇ 情報交換会
会場：長崎ロイヤルチェスターホテル (長崎市赤迫3丁目6-10)

9月2日(日)

- ◇ 特別講演Ⅱ：依存症予防と生活習慣の行動変容
杠 岳文氏 (独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター院長)
- ◇ 教育講演Ⅰ：高齢者虐待と共依存
松下 年子氏 (横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻教授)
- ◇ 教育講演Ⅱ：認知行動療法を活かすアディクション看護
白石 裕子氏 (国際医療福祉大学看護学部教授)
- ◇ 教育研修：困難事例の検討
- ◇ 一般演題 (口演・示説)
- ◇ 交流集会
- 後援—
長崎県、長与町、長崎県看護協会、長崎県教育委員会
長崎県看護学校協議会、日本精神科看護協会長崎県支部
長崎県精神保健福祉士協会、長崎県精神科病院協会
(独) 国立病院機構 肥前精神医療センター、長崎県立大学
(宗) カトリック長崎大司教区、長崎国際観光コンベンション協会
(順不同・敬称略)